

平成28年度平塚市子ども・子育て会議
第2回全体会議 会議概要

日時：平成29年3月14日（火）15時35分～16時00分
場所：平塚市博物館 講堂（1階）

1 議事

(1) 平成28年度 部会報告について

本議事について、事務局から資料「平成28年度 子ども・子育て会議 部会開催状況」に基づいて次のように説明した。

「1 公立園の在り方検討部会」

公立園の在り方検討部会は、平成29年2月6日（月）開催、委員10名のうち7名が出席した。

公立幼稚園及び公立保育園の方向性として、資料「平塚市幼保一元化に関する公立園の見直しについて（概要版）」に基づき、現状や今後の方向性を話し、今後の公立園の在り方について委員から意見をいただいた。平成29年2月17日（金）に開催した庁議にて、承認を得た。今後、この方向性に沿って民営化等を進めていく。

「2 子ども・子育て支援事業推進部会」

子ども・子育て支援事業推進部会は、本日、委員11名の内9名が出席した。

子ども・子育て支援事業の点検・評価を行った。

子ども・子育て支援事業計画については、平成27年度から平成31年度の5年間を計画期間としており、計画内容と実態に乖離が生じた場合は、計画中間年の平成29年度に計画の見直しを行うこととしている。各掲載事業について毎年点検・評価を実施する。

平成28年度の事業評価を各担当課で行い、集計した事業評価シートを委員事前送付し、意見・質問を募集した。部会では、事業評価等に対する意見・質問をいただき、担当課の考えを述べた。いただいた意見については事業推進の参考にする。

【質疑応答は次のとおり】

委員：平成29年2月16日（木）に今後の公立園の在り方について公立園の保護者に説明したところ、驚いていた。例えば、障がいのある子どもを受け入れる支援枠や外国の方等の受け入れは、公立園だからこそ可能だと思う。公立幼稚園の幼児教育を大切にしたいという保護者の気持ちをくみ取っていただきたい。

事務局：今後の公立園の在り方については、児童サービス調整部会において、幼保一元

化中間報告として、お示しをしている。子ども・子育て会議の公立園の在り方検討部会でも、御意見をいただいたこともあった。私立幼稚園の定員に対する入所率が70%を下回る状況の中で、公立幼稚園の存続について検討する必要がある。御意見にもあった障がいのある子どもの受け入れについては公立園の役割の一つでもあるため、公設公営として残るひばり幼稚園で行う予定である。

(2) 委員の推薦や公募について

本議事について、事務局から次のように説明した。

公募委員については、庁内の内規により再任ができないため、現在の委員については任期満了となる。新しい公募委員については、3名募集をしている。

その他の委員については、各団体に委員の推薦依頼を送付する。時期は、4月頃を考えている。また、平成29年度の子ども・子育て会議については、子ども・子育て支援事業計画の中間見直しを行うため、早めに開催することを検討している。

【質疑応答はなし】

出席者：落合委員、黒田委員、中村（千）委員、田代委員、鷺尾委員、高橋委員、山口委員、長谷川委員、島崎委員、津島委員、鈴木委員、本田委員、森下委員、阿部委員

傍聴者：なし

事務局：健康・こども部長、保育課長、教育総務課長、保育課3名、教育総務課2名

以 上